

STAR

クレーンアタッチ

取 扱 説 明 書

製品コード

型

式

K93412

AJK3500H

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

はじめに

- このたびは、クレーンアタッチ付き自走マニユアスプレッタをお求めいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、クレーンアタッチの正しい取り扱い方と日常の点検、整備について記載してあります。
この取扱説明書およびJMS3500シリーズの取扱説明書をよくお読みになって、充分ご活用いただき、いつまでもご愛用ください。
- お読みになった後はいつでも取り出せるように保管し、わからないことがあったときにお読みください。
- 自走マニユアスプレッタを貸与または譲渡される場合には、取扱説明書も添付しておわたしてください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買上げの販売店にご注文ください。
- 下記のマークのついた項目は、安全上、特に重要な項目ですので、必ず守ってください。



—— この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



—— この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



—— この項目を守らなかった場合、けがを負うおそれがあるものを示します。

[取扱いの注意] —— 操作上特に注意すべきことや、本機固有の事項ならびに、守らないと本機の性能、寿命に影響をおよぼす事項を示します。

- なお、品質、性能向上のため、部品の変更を行う場合があります。その際、本書の内容と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

目 次

■ 安全に作業するために	2
■ サービスについて	6
■ 本製品の使用目的について	6
■ 各部の名称と仕様諸元	7
■ 安全銘板の張り付け位置	8
■ 操作方法	9
■ 点検と整備	
1. 点検整備一覧表	13
2. 点検整備要領	14
■ 故障と対策	17

■安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や、機械の破損を生じるおそれがあります。

●全般の注意事項

⚠警告 こんな時は運転しない

過労、病気、薬物の影響その他の理由により、作業に集中できないとき。
酒を飲んだとき。
妊娠しているとき。18才未満のひと。

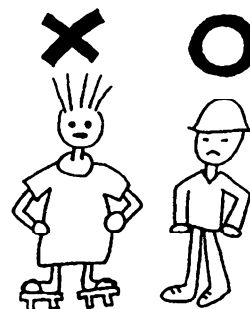
★守らないと
思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



⚠警告 作業に適した服装をする

すべりやすいはきもの、だぶついた服装、腰てぬぐい等は禁止です。
ヘルメット、滑り止めのついた靴等、作業に適した服装をしてください。

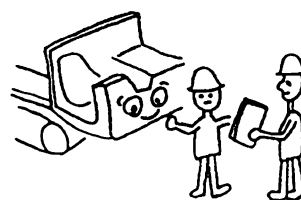
★守らないと
機械に巻き込まれたり、転倒してけがをするおそれがあります。



⚠警告 機械を貸す時は取扱いを説明する

取扱い方法をよく説明し、作業前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

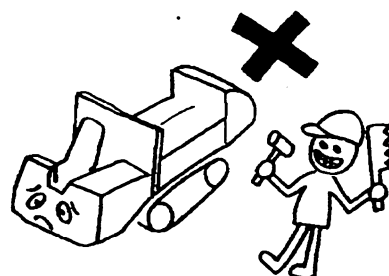
★守らないと
死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



⚠警告 機械の改造禁止

指定以外の部品を取り付けないでください。
分解や改造をしないでください。

★守らないと
事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。





注意

日常点検、定期点検整備を行う

作業前にクレーンの点検を行ってください。

- ・ブームの上げ下げ、ウィンチ、旋回の作動状態
- ・ワイヤーロープ、フックの状態
- ・油圧配管の損傷、油もれの有無

★守らないと

整備不良による事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。

●作業時の注意事項



危険

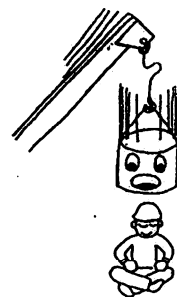
つり荷やブームの下に入らない

つり荷やブームが落下すると危険です。

絶対下に入らないでください。

★守らないと

落下して、死亡事故や傷害事故を引き起こすおそれがあります。



危険

傾斜地や軟弱地でクレーン作業しない

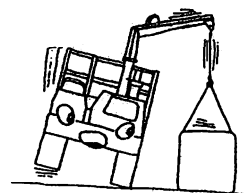
クレーン作業は水平な堅土上で行い、傾斜地や軟弱地は避けてください。

軟弱地では、盤木を敷く等の処置をしてください。

★守らないと

転倒して、死亡事故や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業は傾斜計の
緑の範囲で



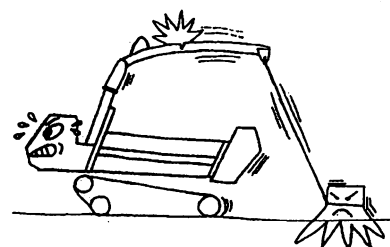
警告

堆肥等の積み込み作業以外に使用しない

堆肥の積み込み用クレーンですので、他の作業をしないでください。

★守らないと

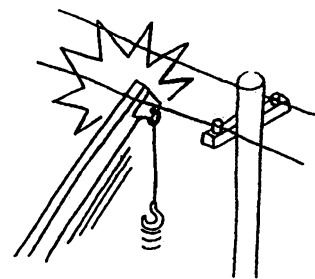
機械の損傷により、傷害事故を引き起こすおそれがあります



▲警告 周囲の安全を確認する

クレーン作業範囲に障害物がないこと、
人がいないことを確認してから作業して
ください。

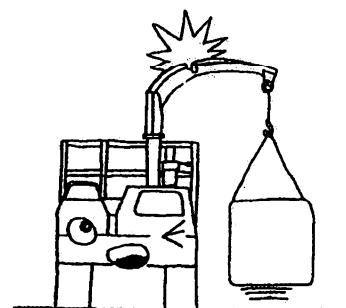
★守らないと
接触等により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲警告 最大吊り上げ質量以内で作業する

最大吊り上げ質量以内で作業してください。
最大吊り上げ質量は480kgです。

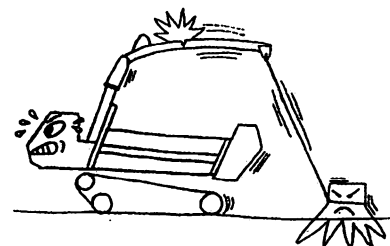
★守らないと
機械の破損により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲警告 横引き、引き込みをしない

横引き、引き込みをしないでください。

★守らないと
機械の破損により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲警告 急激なレバー操作をしない

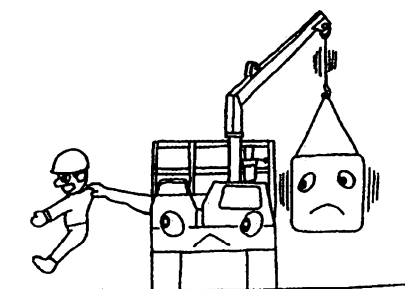
急激なレバー操作をしないでください。

★守らないと
つり荷のゆれ、落下により傷害事故を引き起こすおそれがあります。

▲警告 荷を吊り上げたまま離れない

荷を吊り上げたままクレーンから
離れないでください。

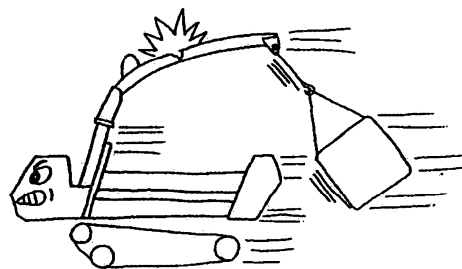
★守らないと
落下等により傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲警告 荷を吊り上げたまま走行しない

つり荷を吊り上げたまま走行
しないでください。

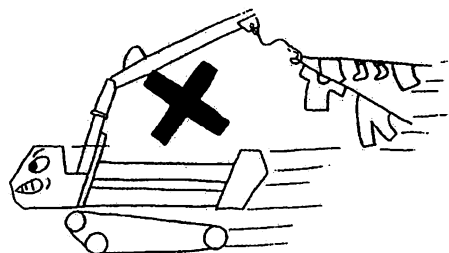
★守らないと
落下等により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲注意 走行中はブームを下げ、後方に向ける

走行中は、ブームをいっぱい下げ、後方に向け
PTOレバーを「切」にしてください。

★守らないと
接触等により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲注意 作業中はヘルメットを着用する

作業中は必ずヘルメットを着用してください。

★守らないと
けがをするおそれがあります。



■サービスについて

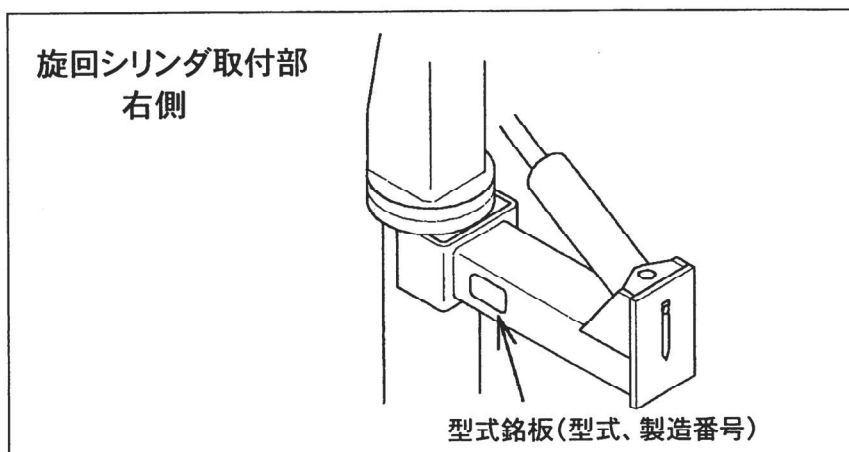
アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは17ページの「故障と対策」に従って、点検してください。
なお不具合がある場合はお買上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ・型式
- ・製造番号
- ・購入年月日
- ・他のオプションの有無
- ・使用時間
- ・使用状況
- ・不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく

覚 え	
型式	AJK3500H
製造番号	
購入年月日	年 月 日



補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。

ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

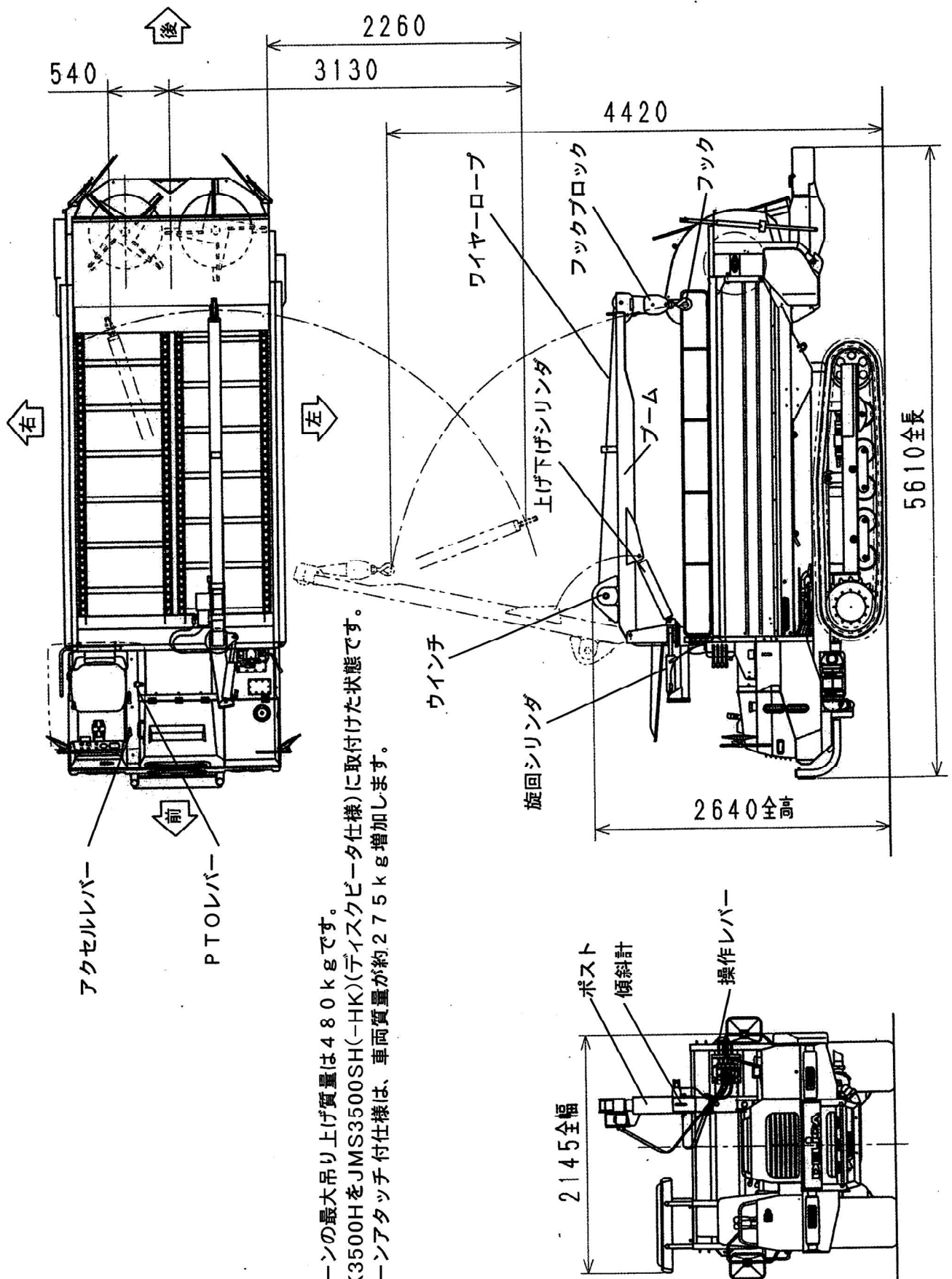
■本製品の使用目的について

クレーンアタッチは、フレキシブルコンテナ(フレコン)入り堆肥の積み込みを目的としたアタッチメントです。

堆肥の積み込み以外に使用しないでください。

また、改造は行わないでください。

■各部の名称と仕様諸元



■安全銘板の張り付け位置

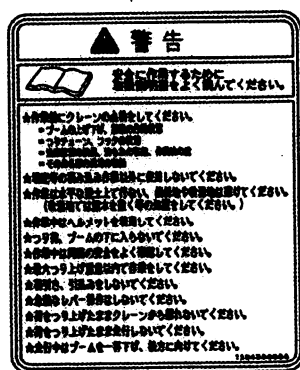
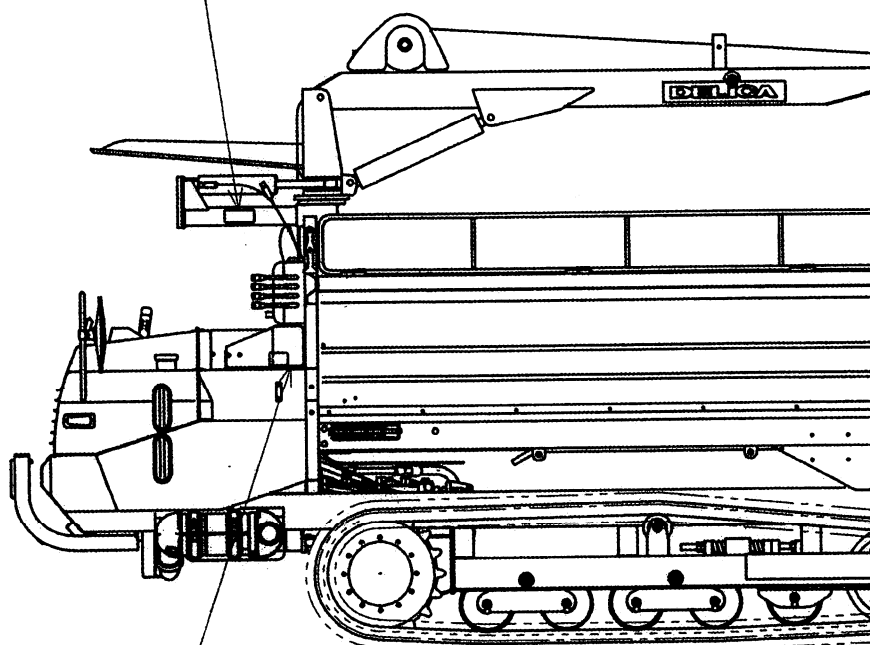
安全に作業していただくための安全銘板の張り付け位置、名称、部品番号を示します。
安全銘板はいつも汚れや破損のないようにし、もし破損した場合は新しいものを購入して張り直してください。



「危険 落下注意」

部品番号

12943-47550



「警告 安全作業」

部品番号

12943-47560

■操作方法

⚠危険

- ・つり荷やブームが落下すると危険ですから、絶対その下に入らないでください。
- ・クレーン作業は水平な堅土上で行い、傾斜地や軟弱地は避けてください。軟弱地では盤木を敷く等の処置をしてください。守らないと、落下や転倒により、死亡や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠警告

- ・堆肥の積み込み作業以外には使用しないでください。
- ・周囲の安全を確認してから作業してください。
- ・最大吊り上げ質量内で作業してください。
- ・横引き、引き込みをしないでください。
- ・急激なレバー操作をしないでください。
- ・荷を吊り上げたまま走行しないでください。守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠注意

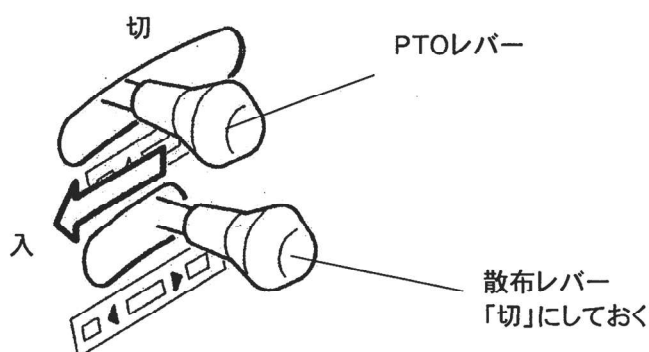
- ・走行中は、ブームをいっぱい下げ、後方に向け、PTOレバーを「切」にしてください。
- ・作業中はヘルメットを着用してください。守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) マニュアルスプレッドのエンジンを始動し、低速回転にします。
クレーン操作中は、エンジンを「低速」にしておきます。

[取扱いの注意]

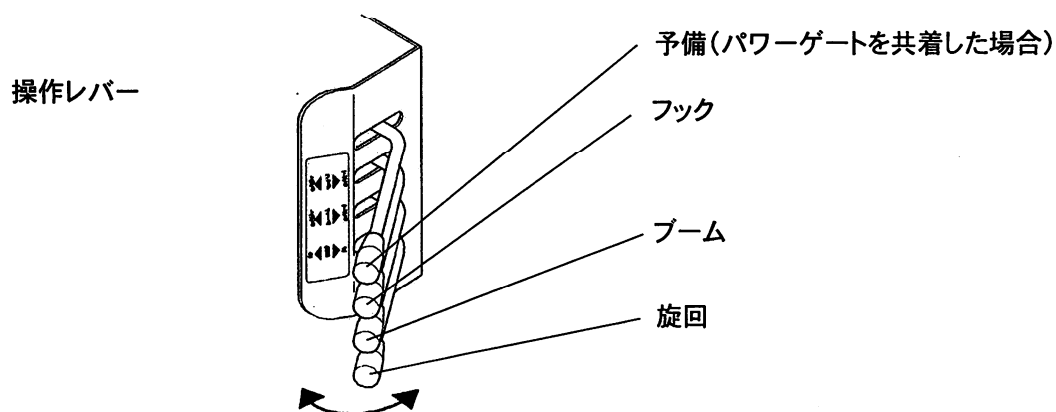
- ・エンジン回転を中速以上にしないでください。
動作速度が速くなって危険であるばかりか、油圧系統の故障の原因になります。

- (2) 散布レバーは「切」にしておきます。
(3) PTOレバーを「入」にします。



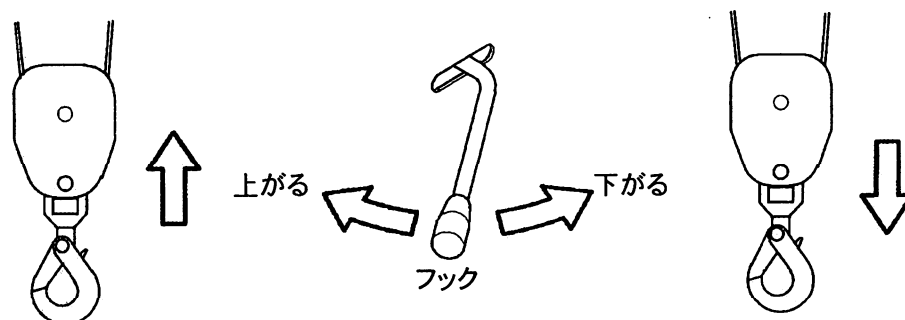
[取扱いの注意]

- ・クレーンと散布の同時操作はできません。
- ・PTOレバーを操作するときは、散布レバーを必ず「切」にしておいてください。
散布レバーが入っていると、急にビータが回りだすことがあり、危険であるばかりか、油圧システムの故障の原因になります。



(4) フックの上げ下げ

操作レバーを「上がる」方向、または「下がる」方向に動かします。

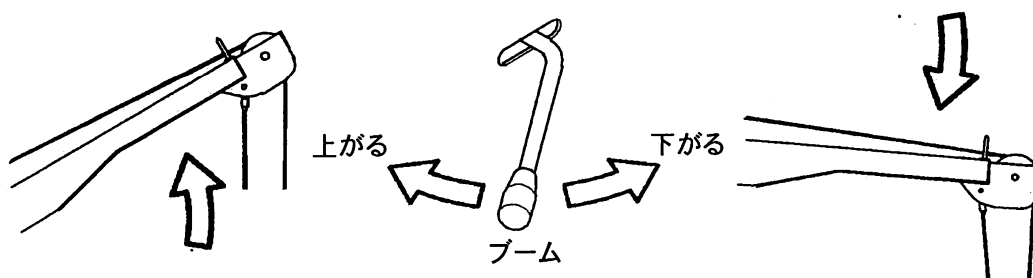


[取扱いの注意]

- ・ブームを上げているときに、フックを巻き上げすぎないように注意してください。ブームと接触し、ワイヤーロープ等の損傷の原因となります。
- ・フックを地面につけないようにしてください。乱巻き、キンクによりワイヤーロープ等の損傷の原因となります。

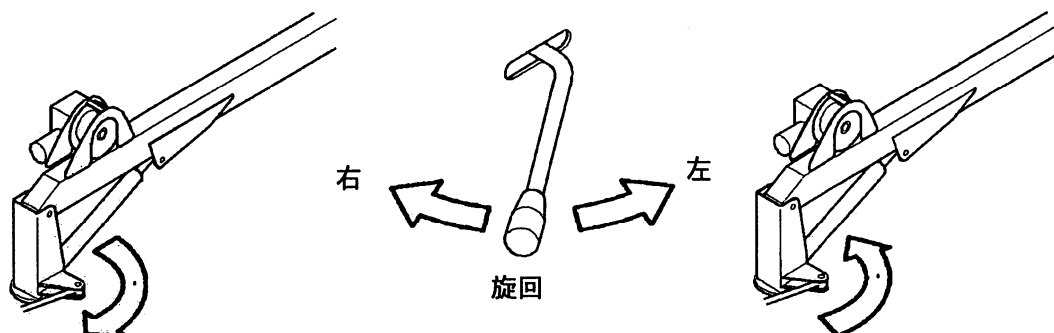
(5) ブームの上げ下げ

操作レバーを「上がる」方向、または「下がる」方向に動かします。



(6) ブームの旋回

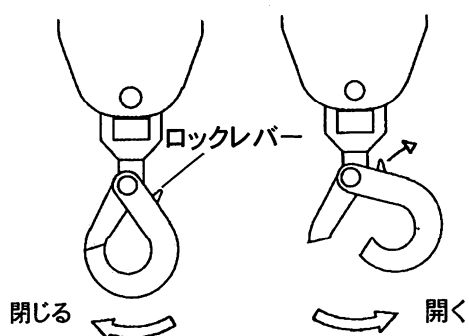
操作レバーを「右」旋回方向、または「左」旋回方向に動かします。



(7) フックの開閉

ロックレバーを引きながらフックを開きます。

閉じる時はそのまま閉じるとロックします。

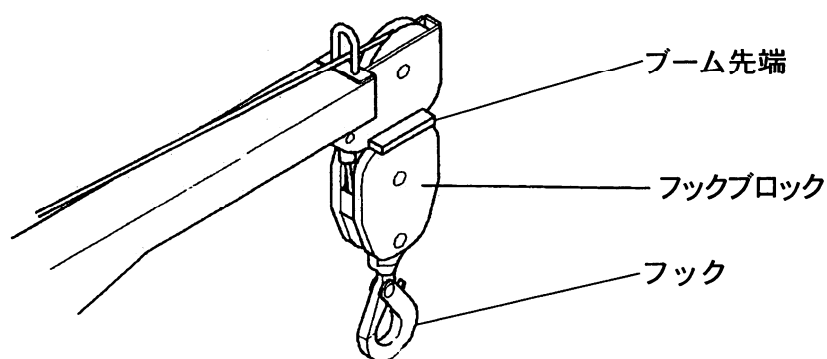


[取扱いの注意]

- ・ 荷を吊る時は必ずフックを閉じた状態にしてください。

(8) フックの格納

ブームを下げ、フック操作レバーを「上がる」方向に動かし、フックブロックがブーム先端に当たるまでフックを上げてください。



[取扱いの注意]

- ・ フックブロックがブーム先端に当たるまでフックを上げる時は、必ずブームを下げてから行なってください。

(9) クレーン作業が終わったら、ブームをいっぱい下げ、PTOレバーを「切」にしてください。

[取扱いの注意]

- ・荷を吊ったまま、あるいはブームを上げたままPTOレバーを「切」にしないでください。
油圧系統の故障の原因になります。

作業終了後は清掃をしてから格納してください。

長期間格納する場合は給油脂を充分に行い、油圧シリンダのロッドおよびワイヤーロープにグリースを塗布してください。

また、なるべく屋内に格納してください。

屋外に置く場合はシート等をかけてください。

■点検と整備

▲注意

- ・点検、整備、修理をする時は、危険のない平坦な場所で行ってください。
- ・点検、整備、修理あるいは清掃するときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・エンジンカバーを開けたときは、必ずステーを立ててください。
- ・点検、整備等で取り外したカバー類は必ず取り付けてください。
守らないと、機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

1. 点検整備一覧表

点検・整備内容	点検・整備間隔				
	作業前	1ヶ月毎	6ヶ月毎	1年毎	2年毎
前回作業での不具合箇所	○		○		
フック上げ下げの作動状態	○		○		
ブーム上げ下げの作動状態	○		○		
ブーム旋回の作動状態	○		○		
ワイヤーロープ、フックの状態	○		○		
ボルトのゆるみ、脱落	○		○		
ピン類の過度の摩耗、脱落	○		○		
油圧配管の損傷、油もれ	○		○		
その他各部の損傷や異常	○		○		
ポスト上部軸受の給油状態	○		○		
ポスト上部軸受の給油		○			
ウィンチギアボックスの給油		○		○交換	
油圧ホースの交換					○交換

【取扱いの注意】

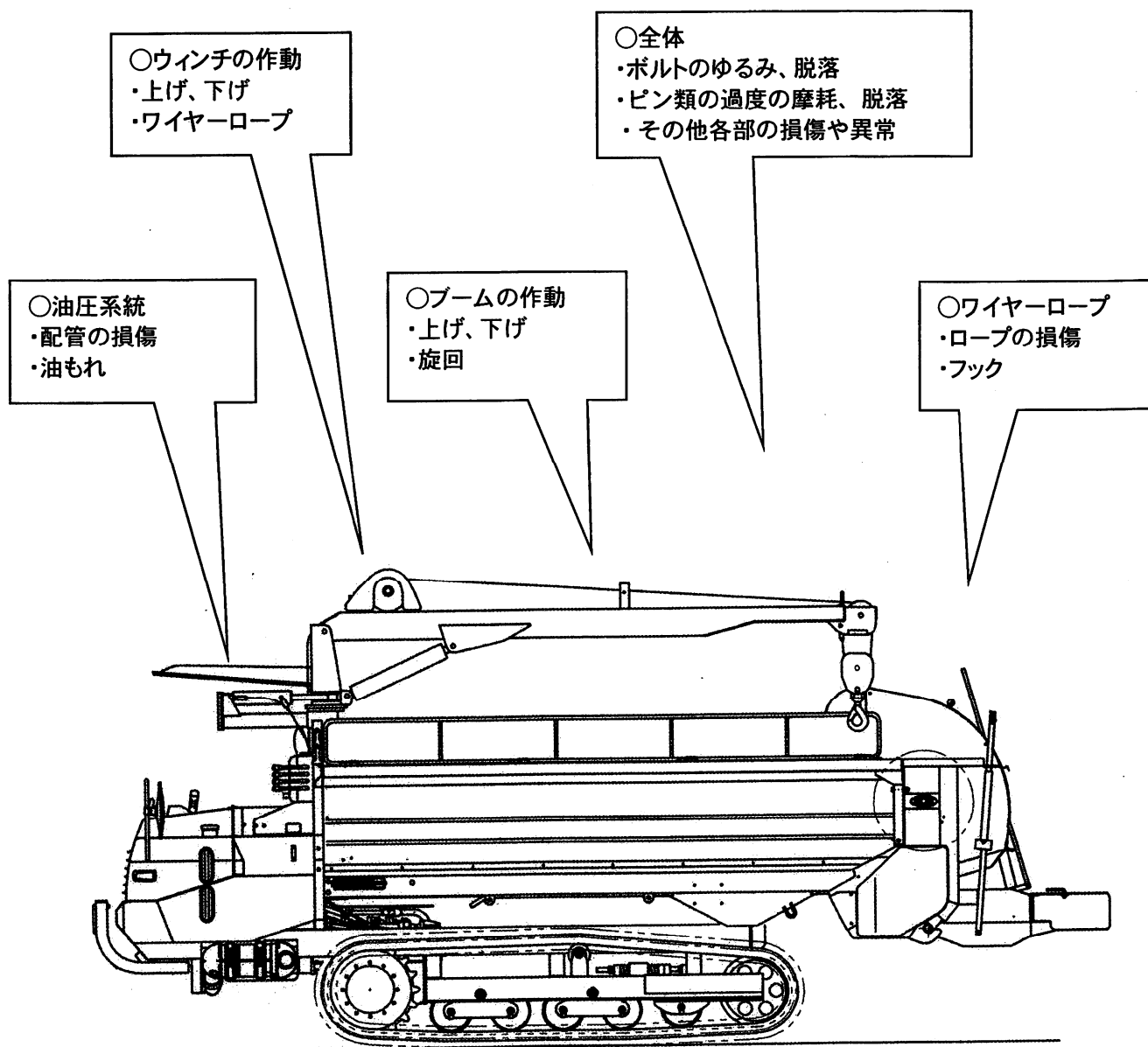
- ・作業条件が悪い場合や、過酷な条件下で作業する場合、適宜に規定の間隔より早めに点検・整備をしてください。
- ・油圧機器は極端にゴミをきらいますので、整備・補給時は絶対にゴミを入れないように注意してください。
- ・交換油脂は指定のものを使ってください。
- ・交換部品は純正品を使用してください。

このページをコピーして点検表として利用してください。

2. 点検整備要領

(1) 作業前の点検

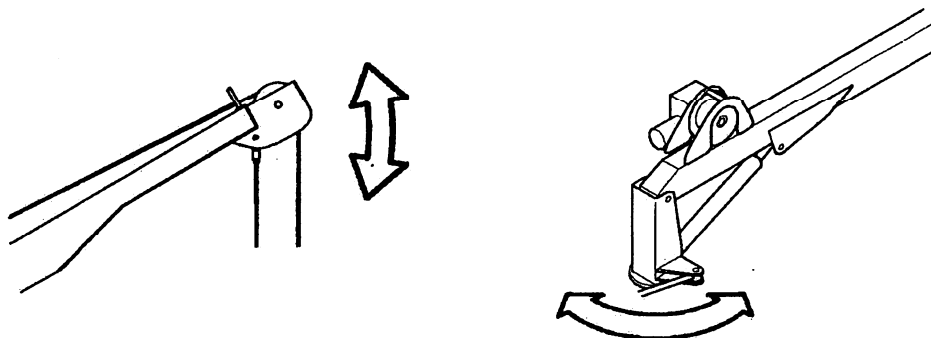
作業前の点検は、作業の安全・能率・機械の寿命に影響します。
作業前にクレーン装置全体を見回って点検してください。



(2) ブームの上げ下げ、旋回の作動状態

(点検：作業前、6ヶ月毎)

無負荷で異常なく作動することを確認してください。

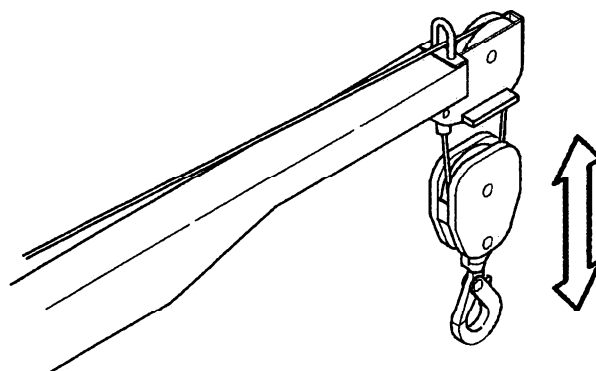


(3) フックの上げ下げ、ワイヤーロープ、フックの状態

(点検：作業前、6ヶ月毎)

ウィンチが無負荷で異常なく作動することを確認してください。

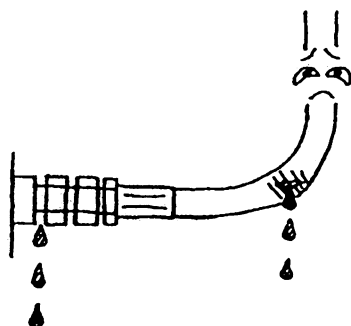
ワイヤーロープ、フックに損傷のないことを確認してください。



(4) 油圧配管の損傷、油もれの有無

(点検：作業前、6ヶ月毎)

特に、油圧ホース・ニップルの継目・油圧モータ・油圧シリンダを点検してください。



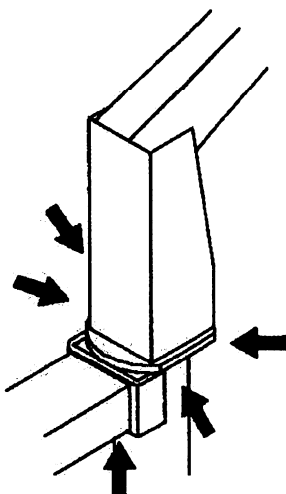
[取扱いの注意]

- ・油圧ホースは、ゴム質の特性上、長期間経過しますと経年変化により劣化し、破損しやすくなります。
注意深く点検し、異常があれば新品と交換してください。
- ・異常がなくても2年毎に交換してください。

(5) 給油脂

(給油：1 ヶ月毎)

ポスト上部軸受のグリースニップル（4ヶ所）にグリースをさしてください。



[取扱いの注意]

・グリースニップルを清掃してからグリースをさしてください。

(6) ウインチギアボックスの給油

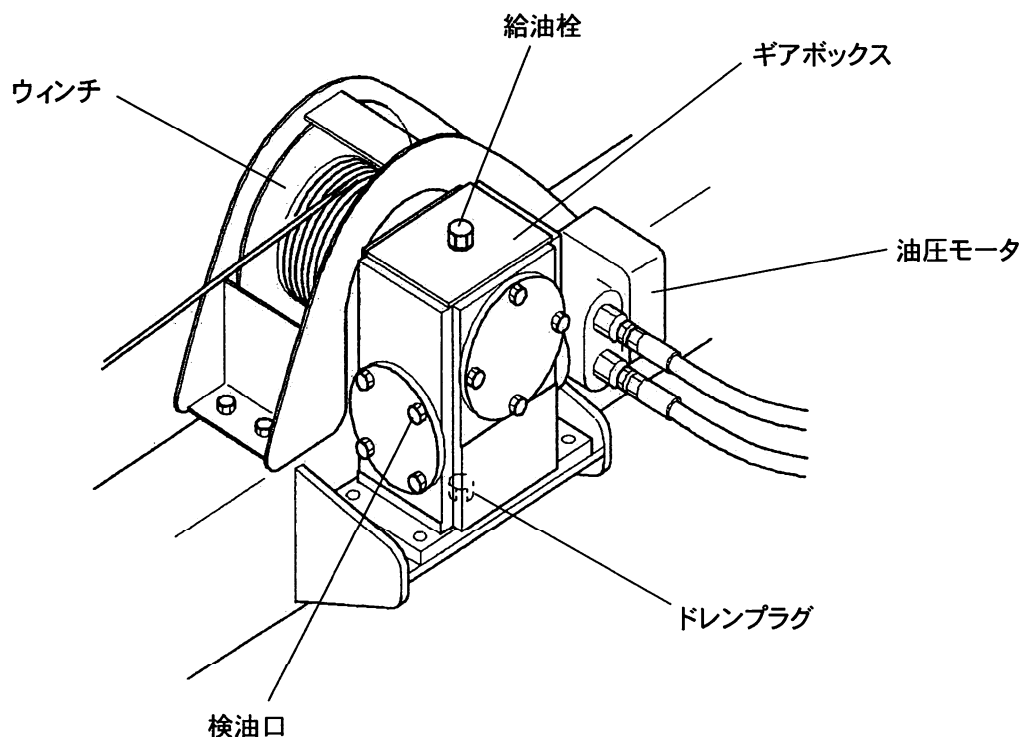
(点検：1 ヶ月毎 交換：1 年毎)

検油栓を外し、油量を確認してください。

ブーム水平時に検油栓位置までオイルがあれば適正です。

交換時は、ドレンプラグより排出後、給油口より注入してください。

使用オイルは、#90ギアオイル約1リットルです。



■故障と対策

ここには、簡単な故障の原因とその対策方法を載せてあります。

もし、機械の調子が悪い時は、この表を参考にしてください。

原因がわからない場合、対策が困難な場合は、早めにお買上げの販売店・サービス工場へご相談ください。

状 況	原 因	対 策
クレーンが動かない	散布レバーが入っている	ニュートラルにする
	P T Oレバーが「切」になっている	「入」にする
	油圧系統の故障 ウィンチの故障	サービス工場で修理
つり荷が上がらない	最大吊り上げ質量を越えている	荷を軽くする
	油圧系統の故障 ウィンチの故障	サービス工場で修理

調 整

S - 2 5 0 7 0 1 A

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233